

Peace

Through Service

奉仕を通じて平和を

ガバナー月信6月号



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

6 2012-2013
June
vol.12

国際ロータリー 第2660地区
2012-2013年度ガバナー

高島 凱夫

2012-2013年度 RI第2660地区方針
「育もう未来の力を～飛躍～」

**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER
2012-2013**

6 2012-2013
June
vol.12

CONTENTS

「親睦活動月間」によせて	1
2013-2014年度のためのPETS・地区チーム研修セミナー開催報告	2
2012-2013年度 IM第4組報告	3
2012-2013年度 IM第8組報告	4
2012-2013年度 IM第1組報告	5
2013学年度 米山奨学生オリエンテーション報告	6
大阪みおつくしロータリークラブ 初例会 開催	7
GSEドイツチーム受入報告	8
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告(第24回)	10
米山奨学委員会 / ロータリー財団	12
2013年4月度 会員数・出席報告	14
敬弔 / お知らせ	15
文庫通信	16

「親睦活動月間」によせて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



6月は今年度の最終月にあたると共に、ロータリー親睦活動月間(Rotary Fellowships Month)の月でもあります。

ロータリー親睦活動要覧によると、ロータリー親睦活動は、共通の職業や関心を持つロータリアンとその配偶者、そしてローター・アクターから成る国際的なグループで、各グループによって独自に運営されています。その会員は、ロータリー親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、国境を越えた親睦を深め、いっそう充実したロータリーの経験を味わうことができます。

「ロータリー親睦活動」は、国際奉仕の一部門であり、現在、100近い親睦グループがあり、趣味や職業活動を通じて、国際親善と奉仕に貢献しています。様々な御意見はありますが、本来は地区に地区親睦活動委員会を設置するよう奨励されています。多くのロータリアンが、親睦活動に参加することを奨励するために、この月間が設けられた訳です。

ヨットに関心のあるロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗りました。現在、最も長く活動を行っているのが、このヨット親睦グループです。親睦

活動の種類は、時を経るごとに増えてきましたが、その目的は今日も変わっていません。それは、親睦の下にロータリアンの繋がりを築き、趣味や職業に関連した活動を楽しむ機会を提供することです。グループならではの特別なスキルを利用して奉仕を行っている親睦グループも多くあります。例えば、カヌーの親睦活動グループは、河川の清浄プロジェクトを実施し、コンピューターの親睦活動グループは、各会員の地元でパソコン研修を行い、スキーバイキングのグループは、ダイビング目的の旅行先でロータリーの奉仕活動に参加しています。

RIでは、親睦活動グループの結成に関する方針を定めています。会員資格を有するのは、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、及び、ローター・アクターです。

親睦活動を推進する上で重要なことは、5つの中核的価値観の中の「多様性」の尊重ではないかと考えます。あらゆる個人、職業、人種、宗教、性別、戸籍などを充分に理解し、尊重することが大切ではないかと思います。又、姉妹クラブ、友好クラブとの交流が休眠状態であれば、自らもう一度再開することも国際親善、国際交流に大きな役割を果たすものと確信いたします。

2013-2014年度のための PETS・地区チーム研修セミナー開催報告

次年度地区代表幹事
山田 正雄（八尾中央RC）

2013～2014年度のためのPETS・地区チーム研修セミナーを3月23日(土)に大阪国際会議場にて、地区役員、会長エレクト及び地区委員会の総勢約250名のロータリアンが出席して行いました。高島Gによる開会挨拶、点鐘により開会され、午前中の合同セミナーに於いて、福家GEから、サンディエゴで開催された国際協議会2013への参加報告があり、次年度RI会長ロン・D・バートン氏のテーマ「Engage Rotary Change Lives ~ ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」が発表されました。このRIテーマを尊重しつつ「ロータリアンが奉仕を実践した時にはロータリアン自身の人生が豊かになる」というバートン氏のメッセージを受ける形で、次年度地区の方針「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」Participate ~ 参加し、敢行しよう ~ について、熱い思いを語られました。

続いて、岡部災害支援プロジェクト委員長・直前Gより、災害支援プロジェクトよりのお願いがあり、地区的米山奨学委員会、国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会より報告がなされ、次年度の地区財務委員長から次年度地区予算について説明があり、午前中のプログラムを終了いたしました。

昼食後に開催のPETS・地区チーム研修セミナーはそれぞれの会場にて開催され、PETSは地区研修リーダー



ダーウ上暎夫PGから「クラブリーダーとしての役割」と題して講演をいただき、出席された会長エレクトによるIM毎のバズセッションを行い、IM担当の各AGEよりテーマに沿って発表が行われました。

地区チーム研修セミナーでは、地区研修サブリーダー大谷透PGから「魅力あるクラブ作りのサポートとクラブの枠を越えたロータリアンの育成」について講演をいただき「地区委員会へのお願い」を申し上げた後、委員会毎にバズセッションが行われました。

再度、合同セミナー会場に集合し、泉GNからの挨拶、福家GEの総括・閉会挨拶をもって、2013～2014年度のためのPETS・地区チーム研修セミナーのすべてのプログラムを終了いたしました。

2012-2013年度 IM第4組報告

東大阪ロータリークラブ会長 片岡 大
IM実行委員長 地引 啓

テーマ:青少年の教育と軽
ホストクラブ:東大阪ロータリークラブ
日 時:2013年4月6日(土)13:30~17:00
場 所:シェラトン都ホテル大阪
参加者:231名

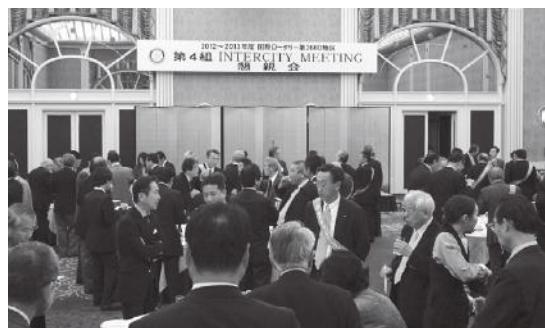
風雨注意報が出ている悪天候にも拘わらず、多数のロータリアンに出席していただきました。高島Gのご挨拶、地引実行委員長の趣旨説明など、セレモニーのあと、基調講演にはいりました。

昨今、いじめや体罰からの青少年の自殺が問題となっています。そこで、今年度のIM4組は「青少年の教育と軽」をテーマで開催いたしました。講師として、作家であり、安倍政権での教育再生実行会議委員でもある曾野綾子氏にお願い致しました。多岐にわたるお話でしたが、現在、社会の諸問題で、誰が一番、悪いのか、責任があるのかを誰も言わない。子供達の教育、安全についても言える事で、東日本大震災の折、津波で多くの生徒が流されたことにも触れ、学校関係者だけでなく、父兄をはじめ子供の周りの大入達の地震対策への思いが足りなかったのではないかと、ご自身が被災地に行かれて感じた事を話されました。最近、老いも若きも自



分本位で、周りのことを考えない。民主主義の権利の主張ばかりで、義務と責任を全うしない世情を変えていかねばならない。そして、今後、教育で示すべき方向として、子供たちが自分自身で自分の人生を切り開いていくような教育をしていく必要がある等の内容で講演されました。

先生は、著述活動を続けながら、海外での奉仕活動他、多方面でご活躍中です。ご高齢にもかかわらず、当日はお一人で東京から来られ一時間半、起立されたまで講演され、内容もご自身の生い立ちや多方面の経験談も交え、時にはユーモアと笑いを誘うお話をされるなど、面白く聞かせていただきました。講演のあと、山田ガバナー補佐の講評のあと、次年度ホストクラブ八尾ロータリークラブ井川会長のご挨拶があり、滞りなく、一部のセレモニーと基調講演を終了しました。今年度は基調講演とロータリアンの親睦を図ることに重点を置きましたので、講演のあとすぐに懇親会に入りました。参加者も例年に比べ、多く残っておられ、和やかな雰囲気で講演の感想や日頃の情報交換など、大いに話が弾みました。



2012-2013年度 IM第8組報告

大阪天王寺ロータリークラブ会長 河野 利紘
IM実行委員長 松井 隆雄

テーマ:「青少年の健全な心と体の育成を」～ ロータリークラブ・ロータリアンは何をするべきか、何ができるか～

ホストクラブ:大阪天王寺ロータリークラブ

場 所:大阪国際交流センター2階小ホール

月 日:2013年4月13日(土)

参加登録:300名

出席者数:138名(講師含む)

参加クラブ(IM第8組):大阪平野ロータリークラブ、大阪イブニングロータリークラブ、大阪城南ロータリークラブ、大阪咲洲ロータリークラブ、大阪帝塚山ロータリークラブ、大阪東南ロータリークラブ、大阪アーバンロータリークラブ、大阪天王寺ロータリークラブ

IM当日の早朝、淡路島地震に見舞われ開会が危ぶまれる一幕もありましたが、岡部泰鑑PGはじめ多数のご来賓の皆様方とIM第8組の多数のロータリアンのご参加を頂き、予定どおり無事終えることができましたことを厚く御礼申し上げます。有難うございました。

主催者である高島凱夫Gが健全な心とからだを持った青少年の育成が今後の日本の発展、世界平和のために必要であると考えられ、本年度の地区の方針・スローガンを「育もう未来の力を～飛躍～」に、「健全な青少年の育成」をKeywordの一つにされました。それを受け検討を重ねメインテーマを「青少年の健全な心と体の育成を」と致しました。

メインテーマを設定した時には考へてもいませんでしたが、昨年末、大阪市立桜宮高等学校のバスケット部主将が顧問教諭から体罰を受けた後自殺したことに端を発して大きな社会問題となり、「指導と体罰」「スポーツと体罰」が是か否かと、マスコミで大きく取り上げられ全面否定から全面肯定論まで議論百出の感がありました。またスポーツも中学・高校でのクラブ活動とプロ・アマチュアのスポーツでの違いもあります。報道機関(産経新聞)の世論調査によると学校の教師やスポーツ指導者による体罰に関し、「場合によっては仕方がない」とする回答が「一切認めるべきでない」とする意見を上回ったと報道されました。



「青少年の健全な心と体の育成のため体罰は必要か」について、講師にお迎えしたウルフの愛称で有名な昭和最後の大横綱、第58代横綱 千代の富士(現九重親方)九重貢氏にはプロの立場から「青少年の精神と忍耐を養う相撲道」と題し、少し趣向を凝らしてアナウンサーからのインタビュー・対談方式にて講演頂きました。弟子の善し悪しはやる気があって、師匠や先輩力士の言うことを素直に受け入れ実践する子供は伸びるが、そうでない子供は挫折するということ、その子の親を見れば子供が伸びるかどうかが分かるということをユーモアたっぷりに話して頂きました。自ら厳しい稽古に耐え、頂点を極めた大横綱は体罰と受け止めたことがなかったようあります。

その後「青少年問題のいま、むかし、さき!」をテーマにしたパネルディスカッションでは、異色の心理分析者 深田昭一先生をメインパネリストにして、現役の高等学校の先生お二人とロータリアン二人に加わってもらいました。立場を異にしたパネリストの討論を通じ、サブテーマである「ロータリークラブ、ロータリアンは何をするべきか、何ができるか」を知る手がかりが得られる興味深いものであります。

閉会式後の懇親会では、パネリストを交え近隣クラブ会員相互の親睦と友情を深めることができIMの目標は達成できたと喜んでおります。



2012-2013年度 IM第1組報告

池田くればロータリークラブ会長
IM実行委員長

池田 吉清
田中 隆弥

テーマ：「新世代を育てる」－米山記念奨学事業を通じ、日本と世界を結ぶ[架け橋]となる若い力を育む－

日 時：2013年4月20日(土) 13:00～16:30

場 所：池田市民文化会館

参 加 者：高島凱夫G、大森慈祥PG、若林紀男PG、新谷秀一PG、大谷 透PG、福家 宏GE、泉 博朗GN、豊島了雄A G、矢野克吉AG、秋山千尋AG、谷口 勉AG、小林和由AG、正岡 哲AGE、井上義信AGE、川崎 壽AGE、新見 瑞AGE、西宮富夫AGN、磯田郁子地区研修委員、村橋義晃地区代表幹事、地区米山奨学会委員会、池田ロータリークラブ、豊中ロータリークラブ、箕面ロータリークラブ、豊中南ロータリークラブ、豊中－大阪国際空港ロータリークラブ、箕面千里中央ロータリークラブ、豊中千里ロータリークラブ、米山奨学生(関西)学友会

ホストクラブ：池田くればロータリークラブ

出 席 者：172名

今年度、田中作次RI会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」であり、高島Gは、地区方針を「育もう未来の力を～飛躍～」とされ、公式訪問の折には未来の地球、日本の未来を託す若い力の育成、「こころも体も健全な若い力」の育成について、今一度考えるよう仰いました。こうしたことにより今回のIMのテーマを「新世代を育てる」～米山記念奨学事業を通じ、日本と世界を結ぶ[架け橋]となる若い力を育む～と致しました。

米山記念奨学事業の使命は、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。奉仕を通じてロータリー活動の誇りを再認識する観点から、日本のすべてのロータリアンが関与する米山記念奨学事業の中でも、特に世話クラブ・カウンセラー制度について理解を深めるため第一部ではパネルディスカッションを行い、そのテーマを「カウンセラーと米山奨学生」と致しました。コーディネーターを磯田郁子地区研修委員に、パネリストとして橋高又八郎氏(池田ロータリークラブ)、北村公一氏(豊中ロータリークラブ)、立花佳枝氏(豊中千里ロータリークラブ)のいずれもカウンセラー経験者と何 玉翠氏(米山奨学生学友会)にお願いしましたパネルディスカッションでは、改



めて奨学事業の意義を実感し視野を広めるよい機会となり、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員の若林紀男PGの講評をもって終了致しました。

第二部の特別講演では、各種メディアにおいて幅広い分野にわたって様々な提言をされている金美齡氏をお招きし、テーマを「新世代を育てる」としてご講演を賜りました。新世代を育てる上では、受身の人間にしないこと、自ら考え行動する人にすることが大切で、そのためには想像力、判断力、分析力、洞察力などが必要であると。またこういった力を身につけるためには体力が必要で体力が最後の勝利を決めるなど、自分の人生自分で決めると生きてこられた金美齡氏の講演は、これから日本を担う新しい世代を育てるということについて考えるよい機会となりました。

最後に、今回のIMにご出席くださいました多数の地区役員の皆様方、IM第1組の会員の皆様方に心より感謝申し上げ、ご報告とさせて戴きます。



2013学年度 米山奨学生オリエンテーション報告

米山委員会 委員
口野 孝 (大阪東RC)

日 時:2013年4月10日

会 場:ヴィアーレ大阪

参加者:高島ガバナー、若林パストガバナー、田中委員長、地区委員、米山学友、新規米山奨学生、世話クラブカウンセラー、会長、幹事、米山委員長 他

本年度の米山奨学生として選考委員会に合格した奨学生を対象に、最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。オリエンテーションに先立ち、西谷副委員長から競争率2倍の難関から選ばれた29名の奨学生に、本年度は日本全体で723名、当2660地区は29名の新奨学生と昨年からの10名の奨学生で計39名の支援することになりました、との挨拶があり、米山奨学生の心得、米山奨学生の意義、米山学友会、奨学生のバッヂ、桜—将来に向けてロータリー精神の継続等の話がありました。

続いて、本番のオリエンテーションが開会となり、田中委員長の司会のもと、高島Gのご挨拶、平和の日本の良さの認識、多くの友達を作ることが世界の友達であり—世界の平和につながります。米山を終了しても交流を続けそれが成長し世界の平和に貢献することを期待します。

引き続き、田中委員長によるロータリーの歴史、米山記念事業の意味、米山は日本だけの組織であり、日本の中の34地区が米山の支援をしている。民間では日本最大の奨学生支援である。米山梅吉さんは、平和日本を世界への信念でいろんな分野に寄付をして貢献をされている。もともと米山梅吉翁は貧困な家庭に育ち、自分の

経験が乏しかったため留学生の支援を始められた。

その後、パワーポイントによる米山の精神、心得、年間のスケジュールの話があり、続いて奨学生とカウンセラーの自己紹介をして奨学生から「確認書」を提出してもらい、正式に「米山奨学生」となり奨学生の喜びはひとしおの感があり、漸く緊張感が取れた様子がありました。

最後に委員長から、「貴方がしてほしいと思うことを他人にしてください」と結ばれた。

以上で、第1部のオリエンテーションが終わり、会場を隣の懇親会場に移し、司会を福田委員が担当され、絶妙な司会のもと、第1部とはがらりと変わった和やかな雰囲気で懇親会が始まりました。

1部の講評を含め、若林パストガバナーのご発声で乾杯のもとそれぞれのテーブルで、料理を食し、アルコールも入り、懇親は最高潮になりました。途中奨学生の「2分間スピーチ」で自己紹介、将来の夢等、次々に発表され大変活発なスピーチがありました。中でも母国への貢献、人と人が笑顔になれるような仕事、奨学生に選ばれた感謝それが立派な日本語で抱負を述べられました。

最後に、西谷副委員長の閉会の言葉で、オリエンテーションは無事終了しました。



大阪みおつくしロータリークラブ 初例会 開催

創立会長
中島 武

本年3月7日に創立総会を行い、その後、日本事務局を通じて、国際ロータリーへの加盟申請をおこなってまいりました大阪みおつくしロータリークラブ、2013年4月16日付でRIへの加盟を承認されました。

これにより第2660地区各クラブの皆様の仲間入りをさせていただくことになりました。創立まで、高島ガバナー、岡部特別代表をはじめとして、横山パストガバナー又は多くの会員の皆様に、ご苦労をおかけしてまいりましたが

船出させていただくことができました。第2660地区の会員の皆様のご協力に、会員一同、心より厚くお礼申し上げます。どうも有り難うございました。

2013年4月18日(木)14時30分より大阪大学中之島センター9階交流サロンにおいて第1回目の例会をおこないました。

地区会員の皆様には、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【新クラブの概要】

名称	大阪みおつくしロータリークラブ
例会場	大阪大学中之島センター9階交流サロン 大阪市北区中之島4-3-53
例会日時	木曜日 14:30~15:30
ビジターフィ	2,000円(粗品進呈)
創立日	2013年3月7日
認証状伝達式	2013年6月17日
所在地域	第2660地区の全域およびその周辺地域
事務局	大阪みおつくしロータリークラブ事務局(曾根) 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 大阪大学中之島センター大阪大学工業会 TEL:06-6444-3660 FAX:06-6444-3661 Mail:okc-sone@onc.osaka-u.ac.jp Mail:takeshi1938@jupiter.ocn.ne.jp
沿革	スポンサークラブ ありません ガバナー 高島凱夫(大阪中之島RC) ガバナー特別代表 岡部泰鑑(大阪城南RC)

※当初、大阪ファンタジーロータリークラブという名称を予定していましたが「大阪みおつくしロータリークラブ」になりました。

※IM第8組に編入されます。

GSEドイツチーム受入報告

研究グループ交換委員会 委員長
田中 義久 (大阪西RC)

2013年3月30日関空に到着したドイツ・ハンブルクチームの団長と4名のメンバーは、1ヶ月の職業研修を終えて4月30日夜、無事帰国の途に就かれました。

滞在中、第2660地区の多くのロータリアンのお世話になりました。今回は、ドイツチームの要望で例年より5日程度長い行程でした。

GSEプログラムは、受入・派遣の大筋は地区委員会が設定するのですが、プログラムの詳細部分、たとえば、「何日の午前中の文化研修は○○RCが△△につれていく」というような細かい部分は、各RCで決めていただくプログラムです。その際、重複してしまうこともあり、調整が必要となります。そのほか様々な局面で、調整や合意形成が必要となります。そんな時、ある種の「我」が出てしまいかがちです。しかしそのうちそれぞれの「我」が馴染み、うまく調整ができたときには、逆に強い相互協力体制が出来上がるのを経験的に感じており、ロータリーの



素晴らしいを感じる局面です。そんな経緯で生まれるロータリアン同士の共同意識はこのプログラムを越えて今後の活動に大いに役立つことでしょう。

今年の受入プログラムにおいて例年に比べて自由時間を多めに取りましたので、ドイツチームはある程度は満足してくれたようです。それより普通では経験できないような体験ができて、本当に喜んでくれました。

居合道場で日本刀を振ったり、墨を作る工房での実演など日本独特の体験ができたことは大変満足していました。また、職場の現場見学などで日本の職業人の持つ仕事への細やかな思い入れが印象に残ったと言われ、受け入れる側として大変うれしく感じました。

振り返れば、寸前でホームステイ先のキャンセルなど危急のトラブルが発生して困惑をしましたが、終わってみれば、全体的には大変素晴らしいプログラムであったと思います。



ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畠 正信（東大阪東RC）

【ロータリー財団学友人道世界奉仕賞】

すべてのロータリー財団学友を対象にした賞で毎年、世界で1人が選ばれ国際大会で表彰されます。2012-13年度は英国ノッティンガムの眼科医、ハーミンダー・シン・デュアさんが選ばされました。地区は候補者1人だけをゾーンに推薦でき、ゾーンはRRFCが委員長を務める選考委員会が1人を選び財団に推薦書式を提出します。(日本はゾーンレベルでも2012-13年度の受賞者はいませんでした。)

受賞資格

1. 地域社会レベルを超え、国際舞台で卓越した人道奉仕を実践している。
 2. 職業において極めて優れた功績を残している。
- *受賞は1回限りです。

【ロータリー財団地域セミナー(Zone1. 2. 3)の開催】

財団地域セミナーが下記の日程で開催される予定です。
参加には事前の登録が必要です。

日時：2013年7月2日(火) 9:00～16:30 (予定)

会場：グランドプリンスホテル高輪（東京）

【ロータリー財団の補助金制度(未来の夢)】

国際協議会で行われたロータリー財団研修の評価書の集計の結果、参加者の95%が新補助金制度(未来の夢)を支持しているという結果となりました。研修資料では、「補助金管理の手引き」が最も役立つ資料に選ばされました。冊子版(1部1ドル)が近日中に日本事務局に入荷となる予定です。

【パッケージ・グラント】

＜ユネスコIHE奨学金＞ ユネスコ水教育研究所(UNESCO-IHE)のパッケージ・グラントは、発展途上国や新興国において、水や衛生設備に関する解決策を模索、計画、実行することできる専門家を育成することを目的として、毎年、オランダ、デルフトにあるユネスコ水教育研究所で学ぶ8名の大学院生に奨学金を授与するものです。申請は提唱者となるロータリアンがオンライン

で行います。申請書の締め切りは、留学が始まる年の7月15日ですが、ロータリー財団で不備のない申請書が受理された順に、資金の上限に達するまで奨学金の授与が行われるため、申請書を早めに提出することが強く奨励されています。

【ボリオ症例数】

2013年4月30日現在のボリオ症例数です。

	2013年 1月1日～4月30日	2012年
アフガニスタン	2	37
パキスタン	6	58
ナイジェリア	16	122
インド	-	-
ボリオ常在国以外	0	6
世界合計	24	223

2013年4月30日現在、今年のボリオ発生件数は24例です。アフガニスタン2、ナイジェリア16、パキスタン6です。

4月26日-29日、西アフリカのベニン、ブルキナファソ、コートジボアール、ギニア、ライベリア、マリ、シェラレオネでワクチンキャンペーンが行われ、約3千万人の5歳以下の子どもたちにワクチン投与が行われました。

【ファースト・クラス・イニシアチブ】

ロン・バートンRI会長エレクトが2013-14年度のゾーン、地区、クラブレベルの全てのリーダーがリスボン国際大会までに寄付することを呼びかけています。2013年4月18日現在、2013-14年度地区ガバナー、地区財団委員長エレクト、クラブ会長エレクトが計330万ドル以上の寄付をしています。今年度に地区内クラブ会長エレクト全員がロータリー財団になんらかの寄付をした際には、“ファースト・クラス・バッジ”が贈られます。これまでに世界で19地区が達成し、“ファースト・クラス・バッジ”を受領しています。日本では4月16日現在約53%のクラブ会長エレクトが寄付をしており、第2590地区が最も高い87%となっています。

災害支援プロジェクト報告(第24回)

災害支援プロジェクト 委員長

岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

1.「水からプロジェクト」支援に対する御礼

第2530地区から支援要請のありました「水からプロジェクト」につきまして、地区内ロータリークラブに支援をお願いいたしましたところ、多額の支援金をご寄付いただきました。総額は635,890円となりました。支援金は、第2530地区の指定口座に5月14日に送金いたしました。

皆様の暖かいご支援ご協力に厚く御礼申しあげます。

2.災害支援地区基金の状況

災害支援地区基金の状況(2013年5月13日現在)

【収入】

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	岡部年度からの繰越	708,892円	
2	大阪中之島RC	57,750円	
3	大阪城南RC	15,460円	
4	利息	5円	
5	大阪東南RC	500,000円	
6	大阪中之島RC	100,000円	
7	寝屋川IRC	37,000円	
8	大阪咲洲RC	30,000円	
9	大阪ユニバーサルシティRC	300,000円	
10	大阪城南RC	45,440円	
11	国際大会日本人朝食会余剰金	14,547円	
12	井上暎夫PG	30,000円	
13	寝屋川IRC	13,000円	
14	八尾中央RC	77,000円	
15	大阪帝塚山RC	100,000円	
16	大阪城南RC	10,000円	
17	大阪フレンドRC	46,000円	
18	千里RC	330,000円	
19	大阪城南RC	800,000円	
20	PSC(財団奨学生OB)	3,000円	
21	東大阪東RC	100,000円	
22	八尾東RC	50,000円	
23	大阪ユニバーサルシティRC	50,000円	
24	豊中-大阪国際空港RC	50,000円	
25	大阪リバーサイドRC	50,000円	
26	大阪西南RC	100,000円	
27	大東RC	50,000円	
28	大阪中央RC	50,000円	
29	大阪難波RC	50,000円	
30	大阪フレンドRC	50,000円	
31	東大阪みどりRC	50,000円	
32	大阪西北RC	50,000円	
33	大阪うつぼRC	50,000円	
34	くずはRC	100,000円	

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
35	寝屋川IRC	50,000円	
36	大阪咲洲RC	50,000円	
37	茨木西RC	50,000円	
38	茨木RC	50,000円	
39	豊中千里RC	50,100円	
40	利息	139円	
41	大阪北梅田RC	50,000円	
42	香里園RC	50,000円	
43	八尾中央RC	50,000円	
44	大阪大手前RC	100,000円	
45	東大阪RC	100,000円	
46	大阪心斎橋RC	50,000円	
47	高槻西RC	50,000円	
48	大阪城南RC	6,417円	
49	大阪フレンドRC	6,270円	
50	八尾RC	50,000円	
51	高槻RC	470,000円	プロジェクト中止返金
52	大阪イブニングRC	50,000円	
53	大阪城南RC	418,425円	災害支援No.51支援金
54	大阪城南RC	7,117円	
	合計	5,776,562円	

【支出】

	地区基金支出内容	金額	備考
1	豊中RC	158,600円	寄付金一部返金
2	振込手数料	600円	
3	千里RC	650,000円	地区基金申請No.46
4	振込手数料	600円	
5	熊谷教材社(八尾中央RC申請分)	150,000円	地区基金申請No.47
6	振込手数料	600円	
7	高槻RC	470,000円	地区基金申請No.48
8	振込手数料	600円	
9	大阪ユニバーサルシティRC	250,000円	地区基金申請No.49
10	振込手数料	300円	
11	千里メイプルRC	208,000円	地区基金申請No.50
12	振込手数料	600円	
	合計	1,889,900円	

【残高】

預金残高	3,886,662円	2013年5月13日現在
------	------------	--------------

3.仙台空港プロジェクト

第2520地区から「仙台空港をバナーで埋め尽くし被災者を見守るプロジェクト」と「仙台空港にモニュメントを建立するプロジェクト」への各クラブのご支援に対して、お礼の文書が届きました。

米山奨学委員会/ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年3月末	全国寄付金合計額	1,106,084,307円(前年度比1.73%増)
	第2660地区寄付金合計額	63,476,750円(前年度比2.21%減)
	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	79,906,475円
	2. 第2750地区	64,240,993円
	3. 第2660地区	63,476,750円
	4. 第2760地区	59,757,655円
	5. 第2590地区	55,250,200円
	6. 第2770地区	54,433,100円
	7. 第2580地区	44,331,319円
	8. 第2820地区	40,939,500円
	9. 第2780地区	38,698,600円
	10. 第2710地区	36,160,530円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈されました。(2013年3月)

氏名	回数	クラブ名
高津 昇	3回目	吹田RC
平野 浩三	1回目	大阪城東RC
高橋 俊光	2回目	大阪城東RC
金沢 英富	3回目	大阪城東RC
永井 正美	2回目	大阪城南RC
山口 寛	3回目	大阪城南RC
辻 幸雄	9回目	大阪中央RC
田上 綱彦	1回目	池田くればRC
岸添 広一	1回目	池田くればRC
加藤 光祥	1回目	池田くればRC
中堂 武賢	3回目	池田くればRC
正岡 哲	5回目	池田くればRC
森 茂寛	5回目	池田くればRC
豊島 了雄	2回目	豊中RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年3月)

クラブ名	回数
吹田RC	53回目
大阪城東RC	43回目
大阪中央RC	35回目
池田くればRC	23回目

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年3月)

氏名	クラブ名
内村 昭	池田くればRC
岡本 厚	池田くればRC
岸添 広一	池田くればRC
松室 利幸	池田くればRC
田上 綱彦	池田くればRC
池田 吉清	池田くればRC
葉田 いつの	大阪西南RC
岡本 健	大阪天満橋RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチブル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年3月)

氏名	回数	クラブ名
豊島 了雄	1回目	豊中RC
村司 辰朗	2回目	豊中RC
谷口 浩	3回目	池田くればRC
正岡 哲	3回目	池田くればRC
田中 隆弥	2回目	池田くればRC
北川 忠嗣	2回目	東大阪東RC
福田 治夫	2回目	守口イブニングRC
壁 憲一	1回目	大阪RC
杉浦 勝昭	2回目	大阪東南RC
井上 修一	1回目	大阪鶴見RC

氏名	回数	クラブ名
畠田 豊	4回目	大阪城南RC
木村 芳樹	1回目	大阪南RC
大谷 透	4回目	大阪西南RC
藤本 和茂	2回目	大阪西南RC
高谷 晋介	2回目	大阪西南RC
高澤 俊也	1回目	大阪西南RC
露口 佳彦	4回目	大阪西南RC
山田 雅則	1回目	大阪天満橋RC
福原 哲晃	3回目	大阪天満橋RC
安田 義治	3回目	大阪天満橋RC
秋山 圭市	2回目	大阪西RC
隅防 武司	2回目	大阪西北RC
前田 葉子	4回目	大阪リバーサイドRC
貝阿弥 一郎	1回目	四條畷RC
大藤 辰弘	1回目	吹田西RC
五條 房己	1回目	豊中千里RC
熊澤 一郎	2回目	豊中千里RC
石津 良行	1回目	東大阪西RC
天野 正亮	2回目	東大阪東RC
須崎 洋一	5回目	東大阪東RC
森 恕	2回目	大阪西北RC
辰野 久夫	1回目	大阪東RC
北村 寅雄	2回目	大阪西RC

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈されました。(2013年3月)

氏名	クラブ名
辻川 功一	大阪中央RC
福田 治夫	守口イブニングRC
田村 謙之助	大阪御堂筋RC
緒方 満	大阪北RC

2013年4月度 会員数・出席報告

IM組	クラブ名	7月期初会員数	4月末会員数	会員数 全員	会員数 女性	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
IM第1組	池田	36	35	2	2	3	-1	4	71.84	62.26	
	池田くれは	29	28	1	1	2	-1	4	89.96	85.62	
	箕面	21	25	0	5	1	4	4	83.55	80.03	
	箕面千里中央	23	22	0	0	1	-1	3	78.61	78.61	
	豊中	45	45	4	3	3	0	4	86.89	67.65	
	豊中南	30	28	2	0	2	-2	3	84.76	73.36	
	豊中-大阪国際空港	19	21	0	2	0	2	4	65.42	52.98	
	豊中千里	37	38	3	1	0	1	4	88.13	79.70	
	小計	240	242	12	14	12	2		81.15	72.53	
IM第2組	茨木	24	25	3	1	0	1	4	93.35	84.85	
	茨木東	39	39	4	0	0	0	4	89.54	74.18	
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	81.90	67.24	
	千里	36	39	0	4	1	3	4	91.67	82.88	
	千里メイプル	22	22	2	1	1	0	4	93.98	81.93	
	揖津	40	40	2	2	2	0	4	92.30	73.31	
	吹田	62	60	8	1	3	-2	4	95.58	88.99	
	吹田江坂	38	36	2	0	2	-2	4	92.44	84.91	
	吹田西	47	48	2	2	1	1	3	100.00	82.63	
	高槻	50	51	6	5	4	1	4	89.23	82.58	
	高槻東	37	36	1	2	3	-1	4	95.45	90.82	
	高槻西	22	20	0	1	3	-2	4	98.75	80.00	
	小計	446	445	36	19	20	-1		92.85	81.19	
IM第3組	大東	44	44	0	2	2	0	4	99.22	89.68	
	大東中央	26	27	11	1	0	1	4	89.23	75.95	
	枚方	38	42	0	9	5	4	4	91.80	78.04	
	門真	29	31	6	3	1	2	4	89.10	76.57	
	交野	31	32	1	1	0	1	4	84.22	78.47	
	香里園	14	15	0	1	0	1	4	91.43	88.10	
	くずは	57	54	0	1	4	-3	4	73.78	56.66	
	守口	41	42	4	4	3	1	4	86.95	78.75	
	守口イブニング	26	27	4	1	0	1	4	83.33	76.85	
	寝屋川	40	43	5	3	0	3	4	90.70	70.93	
	四條畷	11	12	0	1	0	1	4	94.72	92.96	
	小計	357	369	31	27	15	12		88.59	78.45	
IM第4組	東大阪	67	70	0	4	1	3	4	90.93	81.63	
	東大阪中央	35	33	0	2	4	-2	5	89.94	81.61	
	東大阪東	59	60	3	2	1	1	4	80.99	66.32	
	東大阪みどり	26	30	1	4	0	4	4	82.50	63.34	
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	4	96.32	79.61	
	大阪柏原	28	31	2	3	0	3	4	90.88	84.99	
	大阪ネクスト	16	16	6	0	0	0	3	77.08	64.58	
	八尾	64	62	0	2	4	-2	4	75.40	67.13	
	八尾中央	17	18	1	1	0	1	5	86.75	84.46	
	八尾東	23	25	1	2	0	2	4	65.04	59.20	
	小計	366	376	14	20	10	10		83.58	73.29	

IM組	クラブ名	7月期初会員数	4月末会員数	会員数 全員	会員数 女性	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
IM第5組	大阪中央	45	45	5	3	3	0	4	93.89	76.98	
	大阪堂島	32	29	1	1	4	-3	4	91.66	77.50	
	大阪北	195	199	0	8	4	4	4	78.56	67.90	
	大阪北梅田	51	50	3	1	2	-1	4	76.50	66.50	
	大阪西	70	76	0	7	1	6	4	83.39	79.10	
	大阪大淀	54	52	0	0	2	-2	4	75.38	70.26	
	大阪リバーサイド	36	35	7	2	3	-1	4	79.64	71.01	
	大阪西北	53	50	0	1	4	-3	4	88.10	82.64	
IM第6組	大阪そねざき	36	36	22	2	2	0	4	94.75	80.54	
	大阪梅田	27	29	1	2	0	2	4	84.88	81.03	
	大阪梅田東	26	29	0	3	0	3	4	84.47	68.09	
	大阪ユニバーサルシティ	29	32	5	3	0	3	4	88.33	76.67	
	小計	654	662	44	33	25	8		84.96	74.85	
	大阪	255	263	1	21	13	8	4	76.06	55.83	
	大阪東	118	115	0	7	10	-3	4	91.90	77.29	
	大阪東淀ちやまち	31	31	3	1	1	0	4	85.87	70.65	
IM第7組	大阪城東	42	44	5	4	2	2	4	92.00	85.62	
	大阪中之島	29	28	2	3	4	-1	4	90.75	71.29	
	大阪大手前	36	37	3	1	0	1	4	94.12	73.19	
	大阪城北	53	52	3	1	2	-1	4	73.04	70.43	
	大阪天満橋	67	69	0	3	1	2	4	83.96	78.71	
	大阪鶴見	34	35	0	1	0	1	4	86.60	76.95	
	大阪-淀川	33	31	3	0	2	-2	4	93.54	81.40	
	新大阪	34	33	0	4	5	-1	3	86.99	83.99	
	小計	732	738	20	46	40	6		86.80	75.03	
IM第8組	大阪フレンド	22	24	3	2	0	2	4	86.96	75.00	
	大阪本町	25	26	2	6	5	1	4	85.79	73.50	
	大阪御堂筋	33	34	2	3	2	1	4	88.28	76.57	
	大阪南	142	147	0	12	7	5	4	86.36	74.55	
	大阪難波	46	47	0	2	1	1	4	92.81	85.10	
	大阪なにわ	25	27	2	4	2	2	4	91.06	83.92	
	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	89.76	82.98	
	大阪西南	99	98	18	3	4	-1	4	100.00	73.47	
	大阪船場	40	42	0	3	1	2	4	92.25	80.75	
	大阪心斎橋	36	36	0	2	2	0	4	95.00	84.28	
	大阪うつぼ	31	32	4	1	0	1	4	99.00	89.69	
	小計	515	529	34	38	24	14		91.57	79.98	
IM第9組	大阪平野	31	32	3	2	1	1	4	97.49	84.07	
	大阪イブニング	16	15	3	1	2	-1	4	82.74	60.24	
	大阪城南	52	53	0	1	0	1	4	100.00	90.66	
	大阪咲洲	19	19	1	1	1	0	4	90.64	79.90	
	大阪天王寺	59	58	0	2	3	-1	4	89.19	79.87	
	大阪帝塚山	55	53	4	1	3	-2	4	84.12	77.14	
	大阪東南	49	49	0	0	0	0	4	95.92	67.87	
	大阪アーバン	28	24	7	0	4	-4	4	70.83	66.67	
	大阪みおつくし	0	33	13	33	0	33	2	68.18	65.15	
	小計	309	336	31	41	14	27		86.57	74.62	

合計	クラブ名	7月期初会員数	月末会員数	会員数 女性	会員数 累計	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例会 数	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
		84	3619	3697	222	238	160	78	87.0	76.2	

敬弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

上田 稚子 会員(大阪そねざきRC)
2013年3月11日逝去(享年73歳)
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

小枝 繁 会員(東大阪東RC)
2013年5月3日逝去(享年86歳)
会長
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

寺崎 泰彦 会員(大阪南RC)
2013年5月7日逝去(享年82歳)
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

山本 覚 会員(守口イブニングRC)
2013年5月16日逝去(享年71歳)
ロータリー情報委員長、社会奉仕委員長
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

●国際ロータリー日本事務局 事務局移転のお知らせ

国際ロータリー日本事務局は、5月27日(月)より下記に移転致しました。

国際ロータリー日本事務局 〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F
クラブ・地区支援室 TEL:03-5439-5800 財団室 TEL:03-5439-5805
経理室 TEL:03-5439-5803 資料室 TEL:03-5439-5802
FAX:03-5439-0405(共通)

※業務時間は、午前9時30分より午後5時30分までに変更になります。

※「奉仕室」は、「クラブ・地区支援室」に名称が変更になりました。

●大阪天満橋ロータリークラブ 例会場(7月より)ならびに事務局移転(6月24日頃)

新例会場: インターコンチネンタルホテル大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町3番60号
TEL: 06-6374-5700(例会日は木曜日12:30からで変更ありません。)

新事務局: 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目3番19号 東洋ビルディング本館3階 312号
TEL: 06-6374-0303 FAX: 06-6374-0310 (Eメールアドレスは変更ありません)

●大阪御堂筋本町ロータリークラブ クラブ合併に伴う事務局開設のお知らせ

開設日: 2013年6月11日(火)
事務局: 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-10-4 エースビル5階
TEL: 06-6777-3468 FAX: 06-6777-3471 E-mail: mido-honrc@poplar.ocn.ne.jp
※6月末まで、大阪本町・大阪御堂筋の両ロータリークラブも同じ事務所にて執務しております。
※2013年7月1日からは、大阪御堂筋本町ロータリークラブ事務局となります。
※6/10(月)～6/11(火)は通信工事の都合でFAX及びメールが一時不通となりますが予めご了承願います。

文庫通信 (308号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリアンの著書より

- ◎「やさしいロータリーの話－間柄の美学」 佐藤千壽 1984 27p
- ◎「企業の社会的責任」 佐藤千壽 D.2590 1996 26p
- ◎「企業行動のあり方」 佐藤千壽 D.2770 1996 69p
- ◎「決議23-34(セントルイス宣言)成立の経緯」 佐藤千寿 1985 24p
- ◎「ロータリー論策－親睦と奉仕」 佐藤千壽 1996 70p
- ◎「井坂孝の足跡」 鈴木清次編著 2009 221p
- ◎「ロータリーネ話」 津田 進 1987 116p
- ◎「ロータリー茶話」 津田 進 1989 143p
- ◎「ロータリー余話」 津田 進 1994 106p
- ◎「ロータリーネ話・茶話《抜粋編》」 津田 進 1994 141p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みお待ちしております。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ●ガバナー | 高島 凱夫 |
| ●地区代表幹事 | 村橋 義晃 |
| ●地区副代表幹事 | 杉村 雅之 |
| ●担当地区幹事 | 西田 末彦 |
| ●担当地区幹事 | 梅原 一樹 |
| ●事務局長 | 今井 貢二 |

2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	高島 凱夫
地区代表幹事	村橋 義晃
地区副代表幹事	杉村 雅之
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美 春名 志保 納多 寿恵子

●所在地・電話・FAX・E-mail

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30～17:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堀筋本町 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL. 06-6264-2660 FAX. 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 JAPAN
TEL. +81-6-6264-2660 FAX. +81-6-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp